



ぎんが ソブレロ銀河

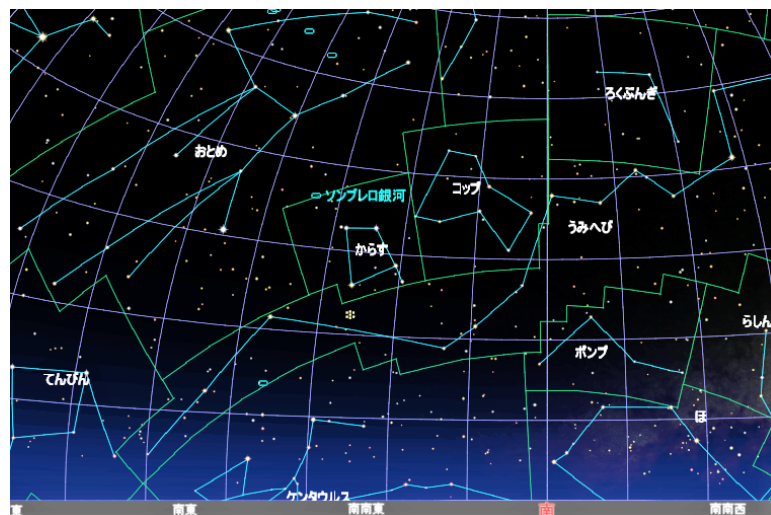
おとめ座とからす座の境目あたりに「ソブレロ銀河」と呼ばれる M104 銀河があります。銀河というのは、太陽が属している天の川銀河の外にある星の大集団の事です。

右の写真はこのソブレロ銀河をハッブル宇宙望遠鏡が撮ったものです。ソブレロとはメキシコの人たちが昔かぶっていたつばの広い帽子「ソブレロ」の事です。この銀河がソブレロみたいということで「ソブレロ銀河」と呼ばれるようになったようです。



Credits: NASA and the Hubble Heritage Team (STScI/AURA)

さて、このソブレロ銀河ですが、かつては天の川銀河やアンドロメダ銀河のような渦巻銀河を横から見ている姿と思われていましたが、最近はどうもそうではないようだとわかってきました。細かなところまで観測してみるとなんと渦巻銀河と楕円銀河が合体したようなハイブリッド銀河らしいということがわかってきました。



ソブレロ銀河の場所 3月1日午前0時頃、足立区での見え方
(アストロアーツ社ステラナビゲータで作成しました)

どうしてそんな構造なのかまだわかっていませんが、痕跡がなくなるほど大昔に渦巻銀河と楕円銀河が衝突合体した結果ではないか、と考えている科学者もいるようです。しかし、それを裏付ける証拠は見つかっていません。

最近、銀河というのは衝突、合体を繰り返すのが普通の事らしいということがわかってきました。
(解説員: 疋田 純之)